

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 1 月 13 日 (2005.1.13)

【公表番号】特表 2001-508475 (P2001-508475A)
【公表日】平成 13 年 6 月 26 日 (2001.6.26)
【出願番号】特願 平 10-524627
【国際特許分類第 7 版】
C 0 9 D 11/00
【F I】
C 0 9 D 11/00

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 4 月 1 日 (2004.4.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年4月 | 日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第524627号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニユファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正する。

7. 添付書類の目録

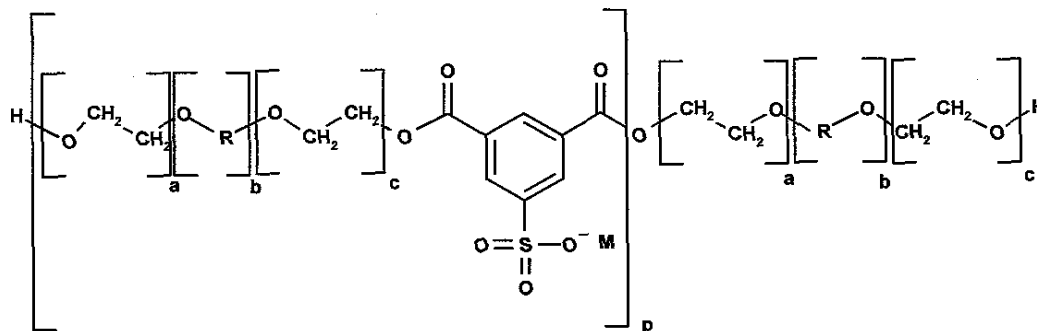
請求の範囲

1 通



請求の範囲

1. (a) 水性媒体と、
- (b) 顔料と、
- (c) 分散剤と、
- (d) 以下の式 (I) :



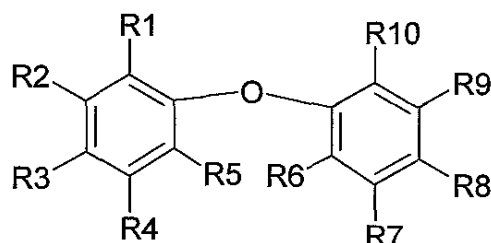
式 (I)

[式中、“M”がカチオンであり、pが1～10の範囲であり、a + cの合計が2～50の範囲であり、bが0～20の範囲であり、Rが、炭素原子が10個より少ないアルキル、アリール、またはアラルキル基である]によって表される化合物からなる群から選択される湿潤剤と、を含むインク。

2. 前記分散剤が、

- (1) 親水性部分ならびに疎水性部分を含有する界面活性剤、
- (2) 親水性セグメント及び疎水性セグメントを有する重合体、または
- (3) それらの組合せ、からなる群から選択される請求項1に記載のインク。

3. 前記分散剤が、以下の式：



[式中、基 R1、R2、R3、R4 及び R5 の一つが、スルホン酸基またはその塩 ($\text{SO}_3^- \text{M}$ 、ここで、Mが水素、アルカリ金属イオン及びアンモニウム塩 NR_4^+ (RがH、アルキル、アラルキル、またはアリールである) の群から選択される) であ

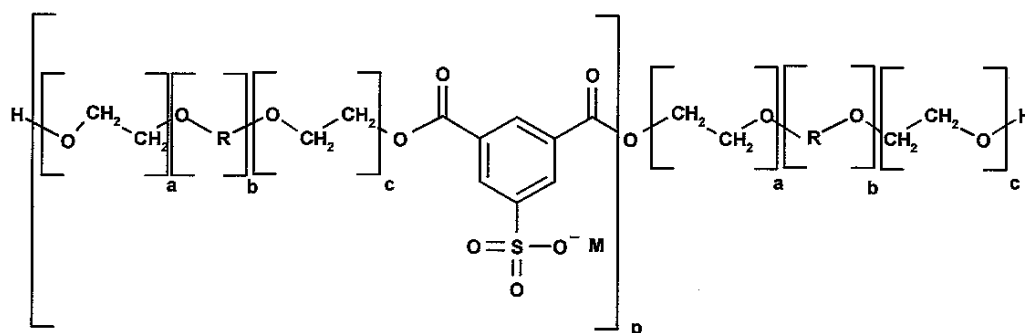
り、基 R6、R7、R8、R9及びR10の一つが、スルホン酸基またはその塩 ($\text{SO}_3^- \text{M}$ 、ここで、Mが水素イオン、アルカリ金属イオン及びアンモニウム塩 NR_4^+ (RがH、アルキル、アラルキル、またはアリールである) の群から選択される) であり、基 R1、R2、R3、R4、R5、R6、R7、R8、R9及びR10の一つ以上が 4 ~ 20 の炭素原子を有するアルキル基であり、基R1、R2、R3、R4、R5、R6、R7、R8、R9及びR10の残余が水素原子である]によって表されるアルキル (スルホフェノキシ) ベンゼンスルホン酸またはそれらの塩である請求項2に記載のインク。

4. aが8~25の範囲であり、b及びcが0であり、pが1~5の範囲であり、Mがナトリウムイオンである請求項1に記載のインク。

5. 界面活性剤、殺生剤、殺菌剤、脱泡剤、腐蝕抑制剤、粘度調整剤、pH緩衝剤、浸透剤、金属イオン封鎖剤、及びそれらの組合せからなる群から選択される添加剤を更に含む請求項1に記載のインク。

6. スルホン化ポリエチレンオキシドを含む湿潤剤を含む請求項1に記載のインク。

7. 以下の式(I) :

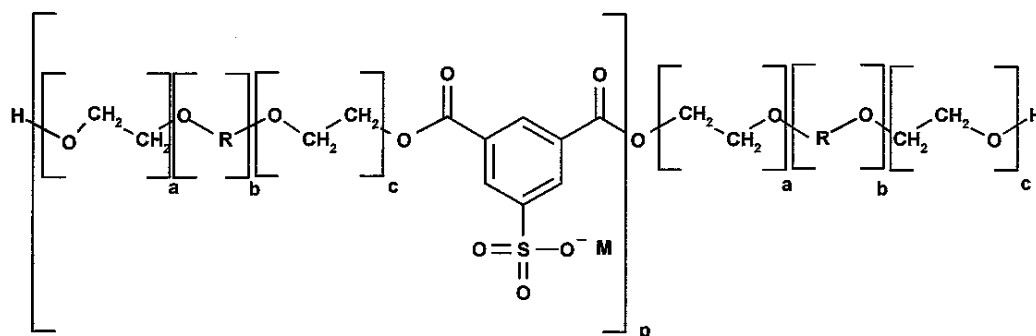


[式中、“M”がカチオンであり、pが1~10の範囲であり、a + cの合計が2~50の範囲であり、bが0~20の範囲であり、Rが、炭素原子が10個より少ないアルキル、アリール、またはアラルキル基である]によって表される化合物からなる群から選択される、請求項6に記載のインク。

8. aが8~25の範囲であり、b及びcが0であり、pが1~5の範囲であり、Mがナトリウムイオンである請求項7に記載のインク。

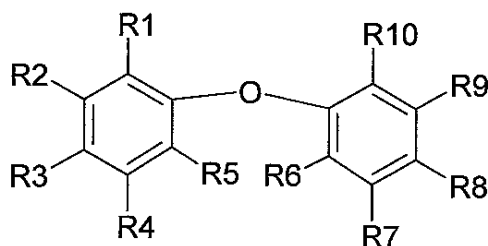
9. (a) 水性媒体と、

- (b) 顔料と、
 (c) 分散剤と、
 (d) 以下の式(I)：



[式中、“M”がカチオンであり、pが1～10の範囲であり、a + cの合計が2～50の範囲であり、bが0～20の範囲であり、Rが、炭素原子が10個より少ないアルキル、アリール、またはアラルキル基である]によって表される化合物からなる群から選択される湿潤剤とを含むインクをカートリッジから媒体に噴射するステップを含むインクの使用。

10. (a) 水性媒体と、
 (b) 顔料と、
 (c) 分散剤と、
 (d) 湿潤剤と、を含み、該分散剤が、以下の式(II)：



式(II)

[式中、基 R1、R2、R3、R4 及び R5 の一つが、スルホン酸基またはその塩 ($\text{SO}_3^- \text{M}$ 、ここで、Mが水素、アルカリ金属イオン及びアンモニウム塩 NR_4^+ (RがH、アルキル、アラルキル、またはアリールである) の群から選択される) であり、基 R6、R7、R8、R9及びR10の一つが、スルホン酸基またはその塩 ($\text{SO}_3^- \text{M}$ 、ここで、Mが水素イオン、アルカリ金属イオン及びアンモニウム塩 NR_4^+ (RがH

、アルキル、アラルキル、またはアリールである)の群から選択される)であり、基 R1、R2、R3、R4、R5、R6、R7、R8、R9及びR10の一つ以上が4～20の炭素原子を有するアルキル基であり、基 R1、R2、R3、R4、R5、R6、R7、R8、R9及びR10の残余が、水素原子である]によって表されるアルキル(スルホフェノキシ)ベンゼンスルホン酸またはその塩であるインクジェットインク。

11. インクカートリッジ及び請求項1に記載のインクを含む、インク供給装置。